

法人として申請できるのは、限られた法人のみです。（市町村、認定鳥獣捕獲等事業者、農協、農済、漁協、森林組合等）**それ以外は個人として申請してください。**

鳥獣の捕獲等（鳥類の卵の採取等）許可申請書
従事者証交付申請書

令和〇年 〇月 〇日

記入例（法人）

川崎市長 様

法人の場合は、**事業所住所、法人名、代表者の役職氏名**を記入してください。

※許可証は原則郵送しておりますので、郵送先が申請者住所と異なる場合は、別途余白又は別紙に住所（事業所住所など）、宛先、担当者名、連絡先を記入してください。

郵便番号 〇〇〇—〇〇〇〇
住所 〇〇市〇〇 ×丁目×番地
氏名 〇〇市 〇〇市長 〇〇〇〇
職業
生年月日
電話番号 ×××—×××—××××

<頭数>
捕獲できる最大数です。複数種の場合は、それぞれの頭数を記入してください。

次のとおり鳥獣の捕獲等（鳥類の卵の採取等）をしたいので、鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律第9条第2項及び第8項の規定により申請します。

許可証番号	※
捕獲等しようとする鳥類の卵の種類及び数量	<p><期間の上限> 鳥類：6ヶ月 獣類：1年 期間終了後も捕獲したい場合は、再度申請ください。 なお、許可証等の交付までに数日かかりますので、余裕をもって申請してください。</p> <p><捕獲・採取後の処置> 致死処分を行う場合には、方法の詳細と、死体の処理方法について記入してください。</p>
捕獲等又は採取等を行う場所	<p>種別 数量</p> <p>ドバト又はキジバト ヒナ〇羽 卵△個</p> <p>鳥の糞害による生活環境被害防止のため</p> <p>令和 〇年 △月 △日から 令和 〇年 ×月 ×日まで</p> <p>〇〇市〇〇 ×丁目×番地</p> <p>箱わな、手捕り</p> <p>ヒナは炭酸ガスによる安楽殺処分後 焼却卵は焼却または埋設</p>
捕獲等又は採取等の目的	<p><目的> 被害があることが明確にわかるように記入してください。 「有害鳥獣駆除」などでは認められません。</p>
鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律施行規則第67条第1項第7号に掲げる鳥獣保護区	<p><区域> 申請者住所と同じ場合は、「住所に同じ」、異なる場合は、捕獲場所の住所を必ず記入してください。 また、本申請書と併せて、捕獲場所の地図の提出もお願いします。 (下欄「添付書類2」を参照)</p> <p>休猟区 <input type="checkbox"/> 自然公園 <input type="checkbox"/> 原生自然 <input type="checkbox"/> 墓地 <input type="checkbox"/> 用禁止区域 <input type="checkbox"/></p>
許可申請者（法人にあっては、捕獲等に従事する者）の狩猟従事者証	<p>氏名 住所 職業 生年月日</p> <p>種類 番号 交付年月日 交付した都道府県知事名</p>
<p>従事者証が必要な場合は、こちらの欄に記入してください。 従事者が2人以上いる場合は、実施者名簿に従事者情報をご記入のうえ、添付してください。</p>	

(第2面)

生息状況	〇〇羽
被害時期	令和〇年△月～×月 または 通年
被害対象物	敷地内に営巣され、糞害により支障が出ている。
被害面積	〇〇㎡
被害見積額	〇〇円

備考 1 ※印の欄には記入しないでください。

2 不要な文字は抹消し、該当する項目の□にレ印を付けてください。

3 銃器を使用する場合は、「許可申請者（法人にあっては、捕獲等に従事する者）の狩猟従事者証の許可番号及び許可年月日並びに鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律施行規則第67条第1項第1号に規定する共済事業の給付額及び被共済期間又は同項第2号に規定する損害保険契約の保険金額及び被保険期間を記載してください。

4 第2面は有害鳥獣捕獲の場合にのみ記載してください。

5 記入欄が不足する場合は、別に記入した書類を添付してください。

添付書類

- 鳥獣の捕獲等又は鳥類の卵の採取等しようとする事由を証する書面
- 鳥獣の捕獲等又は鳥類の卵の採取等しようとする場所を明らかにした図面
- 銃器を使用する方法以外の方法を用いて捕獲等をする場合は、当該方法を明らかにした図面

可能な範囲でご記入ください。